

[抄録様式]

公益財団法人 8020 推進財団 令和2年度 歯科保健活動助成交付事業報告書抄録	
1.	事業名：歯薬連携強化によるかかりつけ歯科医機能の充実を目的とした 連携ネットワーク推進のためのパイロット事業（1）
2.	申請者名：公益社団法人香川県歯科医師会 会長 豊嶋 健治
3.	実施組織：公益社団法人香川県歯科医師会 国立大学法人徳島大学歯学部予防歯学分野 まんのう町国民健康保険造田歯科診療所
4.	事業の概要： 超高齢社会に突入している我が国では、これからの医療と介護は多職種連携体制による地域包括ケアシステムの中で住民ニーズに合致した効率的な社会保障サービスとして提供されることが期待されている。我々は過去3カ年に渡る前事業（事業名：薬局、医科診療所および町保健センターを起点とする地域住民のための多職種連携による歯科口腔保健推進システム構築のためのパイロット事業）を、地域における歯科口腔保健推進のための多職種連携ネットワーク構築を目指して実施し、その結果、薬局との間の「歯薬連携」の推進に特に大きな可能性を見出した。そこで今後の発展のための狙いとして、診断名として最近保険収載された「口腔機能低下症」に着目し、歯薬双方向からの患者問題の改善に向けたアプローチを試み、連携ネットワークの機能強化を目的とした事業を実施する。
5.	事業の内容： ① 香川県の歯科医師会と薬剤師会の全会員を対象として、「漢方薬」と「口腔乾燥への対応」を主題としたアンケート調査を実施して、地域の薬局と歯科医院の連携の現状を把握し、本事業の将来展望についての分析を行った。 ② 口腔乾燥の診断機器である口腔水分計（商品名:ムーカス）を薬局に配置し、歯薬連携推進のツールとしての可能性を検討することとした。 ③ 歯科領域における漢方薬の活用に関する知識の向上を目指した研修会を企画した。
6.	実施後の評価（今後の課題）： ① アンケート調査から、歯科医師・薬剤師ともに歯薬連携に対する意欲・関心は高いものの、具体的な経験や知識は少ないこと、多くの薬剤師が漢方薬を日常的に使用しているのに対して、漢方薬の使用経験のある歯科医師は僅かであるが、歯科の保険適用漢方薬については薬剤師の方が知らないこと、口腔機能低下症の存在については薬剤師にも認識が広まりつつあることなどが分かり、今後の活動方針を立てるための有用な知見を得た。 ② 口腔乾燥を訴える薬局顧客への口腔水分計の使用及び研修会については、新型コロナウイルス予防対策を十分に講じて、次年度に実施することになった。